

看護人間工学会 評議員会議事録

日 時：2019年11月9日（土）12：30～12:55

場 所：神奈川県立保健福祉大学 A445

出席者：水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）、小野保（岩手看護短期大学）、徳重あつ子（武庫川女子大学）、西田直子（京都先端科学大学）、樋之津淳子（札幌市立大学）、箕浦哲嗣（愛知県立大学）、佐伯由香（愛媛大学大学院）、伊丹君和（滋賀県立大学）、伊部亜希（敦賀市立看護大学）、國澤尚子（埼玉県立大学）、高橋眞理（順天堂大学大学院医療看護学研究科）、長坂猛（宮崎県立看護大学）、野崎真奈美（順天堂大学大学院）、村上生美（森ノ宮医療大学）、佐々木杏子（神奈川県立保健福祉大学）

書 記：佐々木杏子

配布資料：①看護人間工学会役員一覧

②看護人間工学会設立の経過

③第1回学術集会について

④2019年度事業計画

⑤2019年度予算案

⑥第2回学術集会長の選出について

1. 役員の新任について

各委員全員の新任が承認された。任期は2019年5月1日から2021年3月31日までとなることが確認された。

2. 理事長挨拶

水戸理事長より、資料に基づき看護人間工学会設立後の経過が説明された。

3. 第1回学術集会について

- ・2019年11月9日（土）に神奈川県立保健福祉大学にて、「看護人間工学の探求～感じ・考え・整え・創る・つながる～」をテーマに開催された。
- ・10月12日（土）に開催予定であったが、台風19号接近に伴い延期した。10月12日時点では一般演題は13題であったが1題取り下げとなり、12演題（9演題は口演、3演題は抄録発表）となった。
- ・参加者は40名（報道2名除く）であることが報告された。

4. 2019年度事業計画

樋之津総務委員長より、資料に基づき本年度の事業計画が説明された。

1) 総務委員会（樋之津委員長、小野副委員長）

- ・小野委員より、ロゴマーク募集の状況が報告された。

9月から募集（締め切りは11月27日）、現在31作品の応募がある。選考は理事・評議員の投票にて決定することを予定している。看護人間工学会誌第1巻の発刊に間に合わせる。

2) 編集委員会（徳重副委員長）

- ・投稿規定は旧研究会誌を踏襲した形であり、学会ホームページへの掲載も済んでいる。
- ・看護人間工学会誌第1巻の締め切りを10月31日としていたが、1件のみであったので、締め切りを11月14日に延長している。
- ・国立国会図書館へ登録は済み、医学中央雑誌への登録は第1巻発刊次第連絡を行う予定である。
- ・旧研究誌では総会資料等を掲載していなかったが、看護人間工学会誌では事業報告や総会資料を掲載してはどうかと提案があり、承認された。
- ・学会誌への掲載証明書を発行してはどうかと提案があり、承認された。

3) 広報・渉外委員会（箕浦委員長）

- ・HPの情報が検索しづらく、今後リニューアルを検討している。
- ・メーリングリストの運用を開始し、問題は発生していない。
- ・第1回学術集会の様子は、HPとニュースレターに掲載する予定である。

5. 2019年度予算案（佐々木委員）

- ・資料に基づき、収入・支出の予算案が報告された。
- ・野崎委員より、収入に“学術集会収入”があり、支出に学術集会の具体的な支出がないのはなぜかと質問があった
→（水戸理事長）本会事務局と学術集会の会計は別会計にしない。規模の小さい学会であるので、同会計が適しているとの意見が委員より出された。
本来であれば支出に学術集会の支出の予算を掲載すべきであった。決算では、学術集会の支出を入れていく。
- ・伊部委員より、学術集会参加費について確認の質問があり、会則第28条 学術集会の費用にて、参加費は学術集会長が定めるとあることを確認した。補助費は10万円であるので、学会にかかる費用から学術集会参加費を検討する。赤字になった場合は学会事務局より補填する。
- ・2020年度の会計年度は2020年4月1日～2021年3月31日までとなる。

6. 第2回学術集会長に関して

野崎真奈美先生（順天堂大学大学院）が推薦され、承認された。

2020年9月27日（日）順天堂大学本郷・お茶の水キャンパス（もしくは浦安キャンパス）で開催予定



第1回 評議委員会の様子



第1回 評議委員会 記念撮影

以上